

赤井川村地域公共交通活性化協議会 開催結果

会議名	赤井川村地域公共交通活性化協議会 令和4年度第1回
開催日時・場所	赤井川村役場 第3会議室 令和4年5月27日(金) 10:30~11:30
出席者	出席委員: 10名 他: 代理出席 4名、委任状 9名 ※うち Web 参加 2名
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 説明・協議事項</p> <p>(1) 令和3年度赤井川村地域公共交通活性化協議会事業報告・決算について</p> <p>(2) 令和3年度赤井川村地域公共交通活性化協議会決算監査報告について</p> <p>(3) 令和4年度赤井川村地域公共交通活性化協議会事業計画(案)・予算(案)について</p> <p>(4) 赤井川村地域公共交通バス(むらバス)の運行状況について</p> <p>(5) 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について</p>
会議資料	別紙のとおり
<p>会議結果</p> <p>(1) 令和3年度赤井川村地域公共交通活性化協議会事業報告・決算について ○特に質疑なし</p> <p>(2) 令和3年度赤井川村地域公共交通活性化協議会決算監査報告について ○特に質疑なし</p> <p>(3) 令和4年度赤井川村地域公共交通活性化協議会事業計画(案)・予算(案)について ○特に質疑なし</p> <p>(4) 赤井川村地域公共交通バス(むらバス)の運行状況について (委員) ・むらバスの1便(5:55発)乗車の増加が見られるため、今後は、赤井川村に帰ってくる便の利用者増につながるため、ニーズを把握し、よりよいむらバスの運行を目指してほしい。 (会長) ・高校生や保護者と意見交換を行ってきたが、学校、部活動によって帰宅時間が違うことからすべての高校生に乗車していただくのは難しい。これからも意見交換を継続し、よりよい運行を目指す。</p>	

(5) 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

（委員）

- ・持続可能な目標値の設定をどのようにしているか。

（会長）

・数値は、地域内フィーダー系統確保維持計画（案）のとおり1日平均10人以上、収支率10%を目標としている。キロロマウンテンセンターまで延伸したことにより観光利用の拡大にも取り組んでいきたい。住民が利用しやすいよう、JR、中央バスとの接続のほか、余市循環線やニキバスとの接続も検討したい。

（委員）

・利便性を向上させるには、便数を増やす検討も必要となる。便数増やすには利用者の増の取り組みも必要。観光利用を拡大するとなれば決済方法の課題など数多くあるが、引き続きよりよい交通を目指すため協議してほしい。

6) その他

○札幌運輸支局より「ダウンサイジング等係る支援策について」資料に基づき説明。

○キロロより、観光庁補助事業を活用した「キロロ・小樽線」ほかの実証運行の状況について口頭説明

「キロロ・札幌線」「キロロ・小樽線」ともに一定の利用があったが、コロナ禍であり収支は少しの赤字となった。予約ではないので乗車したい時に乗車できるため、利用者の利便性は向上した。今後の運行については、これから協議していく。

バスに登載した顔認証についても、改善をしていく予定。